

こうえきしゃだんほうじん かんさいに き かい  
**公益社団法人 関西二期会**

ねん しょうわ ねん けいはんしん ざいじゅう せいがくか に き  
 1964年(昭和39年)京阪神に在住する声楽家たちにより「二期  
 かいかんさいし ぶ ほっそく ご ねん しょうわ ねん かんさい  
 会関西支部」として発足し、その後1980年(昭和55年)に「関西  
 に き かい あらた じゅうてん お えんそうだんたい かつどう かいし  
 二期会」と改め、オペラに重点を置く演奏団体として活動を開始  
 し、2010年(平成22年)4月1日付けで法人格を取得し「一般  
 しゃだんほうじんかんさいに き かい ねん へいせい ねん がつ  
 社団法人関西二期会」となり、さらに2011年(平成23年)12月  
 にちづ こうえきしゃだんほうじんかんさいに き かい  
 26日付けで「公益社団法人関西二期会」となりました。

げんざい かつどう ねん かい こうえん ねん かい えんそうかい じく  
 現在、その活動は年2回のオペラ公演や年6回の演奏会を軸と  
 し、オペラ歌手の育成や、学校公演をはじめ、子供たちに向けた  
 かつどう ちから い わたし かんさいに き かい しんし げいじゆつ  
 活動にも力を入れています。私たち関西二期会は、真摯な芸術  
 かつどう つう ひろ しゃかい こうけん  
 活動を通じ広く社会に貢献することをめざしています。

**知っていますか?**

がつついたち  
**10月1日は**  
 こくさいおんがく ひ  
**「国際音楽の日」**です

ねん ようせい せつりつ こくさいおんがくひょうぎ  
 1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議  
 かい かいぎ よくとし ねん まいとし がつついたち  
 会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、  
 せかい ひとびと おんがく つう たが なかよ こうりゅう  
 世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を  
 ふか こくさいおんがく ひ  
 深めていくために「国際音楽の日」とすることにしまし  
 た。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の  
 にほん ねん まいとし がつついたち こくさいおんがく  
 日」と定めています。

れいわ ねんど  
**令和4年度**  
 こうえきしゃだんほうじん かんさいに き かい  
 公益社団法人 関西二期会

ぶん かげいじゆつ こどもいくせいすいしん じぎょう  
**文化芸術による子供育成推進事業**

じゆんかいこうえんじぎょう  
 巡回公演事業

がっしょうこうえん  
**合唱公演**



ぶん かげいじゆつ こどもいくせいすいしんじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう  
**「文化芸術による子供育成推進事業-巡回公演事業-」**

わ くに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ  
 我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた  
 ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい え こども ほっそりよく のうりよく  
 舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力  
 の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としてい  
 ます。  
 じぜん じつえん じつえん じつえん  
 事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、  
 できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



令和4年度

# 文化芸術による子供育成推進事業

巡回公演事業



関西二期会合唱公演

## プログラム

オープニング

小中 交響曲第九番「合唱付き」第4楽章より

日本の歌メドレー

小中 四季を彩る日本の歌  
(花～我は海の子～村祭～雪～ふるさと)

スキヤット

小中 トランペット吹きの休日

男声合唱

小中 ソーラン節

女声合唱

小中 ほたるこい



みんなの合唱曲

小中 威風堂々  
小 勇気100%  
中 Jupiter

心と心を紡ぐ歌

小中 しあわせ運べるように～花は咲く

楽しい二重唱

小中 猫の二重唱

オペラの名曲

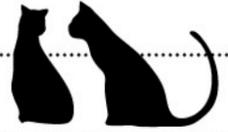
小中 行け、わが想いよ、金色の翼に乗って 歌劇「ナブッコ」より(原語)  
ハバナラ 歌劇「カルメン」より(日本語)  
乾杯の歌 歌劇「椿姫」より(原語)

みんなで歌いましょう

小中 共演曲 ワークショップの成果を発表

校歌

小中 校歌斉唱  
混声四部合唱



## 曲目解説

小中 交響曲第九番「合唱付き」第4楽章より (L.v.ベートーヴェン 作曲)

「歓喜の歌」のオープニングで熱く、美しい音楽の世界への幕が開きます。合唱ならではのダイナミックさ、力強さをお楽しみください。

小中 四季を彩る日本の歌 (オリジナルメドレー)

小学生の皆さんがよく知っている童謡のメドレーです。心あたたまる歌詞やメロディーからは、かつての日本の暮らしぶりや風景、また日本人の豊かな感性が感じられます。これからの時代にも歌い継がれてほしいという願いを込めて歌います。

小中 トランペット吹きの休日 (L.アンダーソン 作曲)

運動会・体育祭でもおなじみの「トランペット吹きの休日」は、メロディーを聞けば「あっ!知っている!!」という人も多いでしょう。今日は歌詞のないスキヤットという歌い方で歌います。忙しいトランペット吹きが、休みが取れた嬉しさに思わず休みのなにもまたトランペットを吹いてしまった、という話をもとに作曲されました。リズムカルな速いテンポで、トランペット吹きの陽気な気持ちが表現されています。

小中 ソーラン節 (北海道民謡:福永陽一郎 編曲)

北海道・積丹半島の漁師がニシン漁の網を引っ張る時のかけ声「ヤーレ・ソーラン」から作られた、「沖場音頭」とよばれる作業歌です。日本にはこのように、その土地独自の歌がたくさんあります。今日は伴奏のない「ア・カペラ」という演奏スタイルで、力強い男声合唱の魅力をお届けします。

小中 ほたるこい (わらべうた:小倉朗 編曲)

この曲も「ア・カペラ」です。先ほどの「ソーラン節」とは対照的に女性の優しい声で可愛らしく歌われます。3つのパートに分かれて輪唱風に歌い、ほたるの光が点滅している様子を「ほ・ほ・ほ」と音楽で表現します。この曲はもともと、秋田地方のわらべうたでした。

小中 威風堂々 (E.エルガー 作曲)

「威風堂々」という名前の通り、壮大で迫力にあふれた曲です。だれもが一度は耳にしたことがあるこの曲は、イギリスでは第2の国歌と呼ばれ、作曲から100年以上経った今もなお人々の心を勇気づけています。

小中 勇気100% (松井五郎 作詞・馬飼野康二 作曲)

アニメ「忍たま乱太郎」の主題歌として、皆さんもよく知っている曲ではないでしょうか。落ち込んでいる友達に「一緒にがんば

ろうよ」と励ますメッセージが込められています。今日は、混声四部合唱の息のそろう24人の歌声で、パワーをお届けします。

小中 Jupiter (吉元由美 作詞・G.ホルスト 作曲)

ホルスト作曲の「惑星」をアレンジしたこの曲は、「ひとりじゃない深い胸の奥でつながってる」と歌い、新潟県中越地震や東日本大震災の復興のシンボルとして支持されています。今なおロングヒットを続け、ドラマやCM、アーティストによるカバーなど老若男女問わず人気を集めています。

小中 しあわせ運べるように (白井真 作詞・作曲)

「しあわせ運べるように」は阪神・淡路大震災後に神戸復興を願って作られ、「花は咲く」は東日本大震災の被災地復興を応援するために制作されたチャリティーソングです。未来への希望を願い歌い継がれています。

小中 猫の二重唱 (G.ロッシーニ 作曲)

作曲家ロッシーニが生まれたイタリアでは、猫の鳴き声は「ミャウ」といいます。オス猫とメス猫の2匹が登場し、ネコ語で歌います。二匹の物語と結末はいかに?! 歌と演技の両方をお楽しみください。

小中 行け、わが想いよ、金色の翼に乗って 歌劇「ナブッコ」より (G.ヴェルディ 作曲)

歌劇「ナブッコ」は、作曲家ヴェルディが初めて大成功した作品で、古代バビロニアとエルサレムを舞台にした壮大なオペラです。第3幕の合唱「行け、想いよ、金色の翼に乗って」は、今日でも第2のイタリア国歌と呼ばれ、親しまれています。

小中 ハバナラ 歌劇「カルメン」より (G.ビゼー 作曲)

場面はスペインのセヴィリアのタバコ工場前の広場。ここで働いているカルメンはとても魅力的な女性です。彼女は「恋はいうことを聞かない小鳥 飼いなすことなんか誰にもできない」と歌いながら兵隊のドン・ホセを誘惑します。登場人物が自分の気持ちを歌にのせて表現するのも歌劇(オペラ)の特徴のひとつです。

小中 乾杯の歌 歌劇「椿姫」より (G.ヴェルディ 作曲)

今から150年程前のフランス・パリのお話です。主人公はヴァイオレッタという女性。毎晩パーティーを開き、お酒を飲んだり踊ったりして楽しんでいます。ある夜アルフレードという青年が招待され、人々が「さあ、友よ飲み明かそう」と歌うのがこの「乾杯の歌」です。今日は原語(イタリア語)で歌います。歌手たちの表情や演技から華やかな場面を想像しながら聞いてみてください。